

RESIDENT
in
NAGASAKI

N
with

全国から集まる研修医 in 長崎

*02



長崎に、ドラマがあった。

長崎県外大学出身の5人が語る、
出会いと成長の長崎物語。

ALL NAGASAKI 11:00~ 初期研修 合同説明会

時間	10:30~	受付開始
	11:00~12:00	新・鳴滝塾トライアングルコース説明会 及び 長崎大学病院初期臨床研修説明会
	12:00~12:40	昼食
	12:40~14:50	病院別説明会

場所 NBC別館 2F
「メディアツー」

対象 医学部生ならどなたでも参加できます！
※事前登録してご参加ください
交通費の助成があります！お弁当を用意します！

2015年 **6月27日** 土曜日

基幹型プログラム 合同採用面接

時間 15:00~
場所 NBC別館 7F 対象 医学部6年生、既卒

諫早総合病院 / 上戸町病院 / 長崎県五島中央病院 / 済生会長崎病院 / 佐世保共済病院
佐世保市立総合病院 / 佐世保中央病院 / 長崎県島原病院 / 長崎原爆病院 / 長崎労災病院

※採用面接は病院ごとに個別で行います。※事前申し込みが必要となります。詳しくはHPをご覧ください。

ナガサキ 新・鳴滝塾
ALL NAGASAKI
新鳴滝塾

■お問い合わせ先
長崎医師臨床研修協議会【新・鳴滝塾】事務局
(tel) 095-865-8351
(web) www.narutaki-jyuku.jp
(e-mail) info@narutaki-jyuku.jp
携帯電話からの病院見学のエントリーはこちらから→



*02

長崎に、ドラマがあった。

長崎県外大学出身の5人が語る、
出会いと成長の長崎物語。

RESIDENT
in
NAGASAKI
with **N**

全国から集まる研修医 in 長崎



長崎に、ドラマがあった。
美しい海と山々
豊かに息づく独自の文化
優しさにあふれた、あたたかい人々
この素晴らしい長崎の舞台で
あなたのドラマが始まります
これから長く続く医師人生を
鮮やかに彩るドラマです

長崎での出会いが私を変えた。

中山宗郎 先生

長崎大学病院
初期臨床研修医 1年目

自ら考え、自ら動くことで
確かな学びを得る

僕の医師としての土台を築いてくれたのは、長崎大学病院 呼吸器内科の小河原大樹先生です。僕が落ち込んでいた時には飲み込んでくれていた、小川先生は公私共にお世話になっている兄のような存在ですね。研修医のことをとても真摯に考えてくれる先生で、治療方針などを研修医にしっかり考えさせ、訂正すべき箇所はしっかりとフィードバックしてください。小河原先生をはじめ、たくさんの方が見守っていてくださるので、安心して医療に臨むことができますし、自ら考え、手を動かした経験はしっかりと自分のものになるんですね。小河原先生には、「言葉一つで、患者さんを安心にも不安にもさせる。言葉の一つひとつにまで患者さんの目線に立つように」

と、医師としてのあり方も学びました。長崎大学病院はさすがにプログラムなど研修内容が充実しており、指導医数が多いのも特徴のひとつだと思います。「救急医療教育室」という研修プログラムでは、市中病院の救急外来で専任の教官からマンツーマン指導を受けながらファーストタッチできます。おかげで初期から3次救急まで多彩な症例を経験することができました。また長崎大学病院は教育のバックアップ体制がしっかりしており、雑用や事務を担当してくれる研修医コンシェルジュや、先輩医師がいろいろな相談に乗ってくれるメンター制度など、医療に集中できる環境も魅力です。こうした素晴らしい研修環境は学生時代の同期からびつくりするほど羨ましがられていますね(笑)。この環境をしっかりと活かして、ますます研修に励みたいと思っています。



Meet
私に長崎で出会った人

長崎大学病院
第二内科 医員
小河原大樹先生

RESIDENT in NAGASAKI 01



飛行機

① 中部国際空港 ↔ ② 長崎空港
1時間30分

藤田保健衛生大学 (愛知県) 出身

Profile なかやま むねお

趣味：ランニング、旅行

座右の銘：我、事において後悔せず

大切なモノ・コト：患者さんの気持ちを考えた医療



ウェルカムな
明るい環境！

長崎大学病院は他大学出身の研修医が多く、僕も他大学出身ですが、先生をはじめ、看護師さん、コメディカルの方々、病院スタッフのみなさん、全ての方々が分け隔てなく接してくれます。それに、どの診療科に行ってもウェルカムな雰囲気、明るく迎えてくれるのも嬉しいですね。コミュニケーションもバッチリです！



丁寧な指導が嬉しい！



島原病院での外来研修

充実の教育システム！

長崎大学病院は教育システムがしっかりしており、研修医を育てることにとっても熱い病院。どの先生も気さくで声をかけやすく、教育熱心できめ細かく丁寧な指導をしてくださいます。

長崎は、観る、食べる、遊ぶ、
その全てに魅力がいっぱい



長崎ランタンフェスティバル



バラとワインマラソン



島原名物、具雑煮



上五島でスタンドアップパドルボード

①長崎ランタンフェスティバル/長崎市街を彩る約1万5千にも及ぶランタンの幻想的な光に感動！ ②島原名物、具雑煮/長崎では、その土地独自の“食”も楽しめます。島原では名物の具雑煮に舌鼓を打ちました。③バラとワインマラソン/研修医でランニングチームをつくり、マラソンイベントに参加しています。④上五島でスタンドアップパドルボード/長崎のキレイな海は、見ていただけじゃもったいない。

1 2
3 4

長崎での出会いが私を変えた。

独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター
初期臨床研修医 1年目

重野晃宏 先生

私が長崎で
出会ったもの Meet

壱岐島での
離島研修

「島の医療」が、医師としての
可能性を大きく広げてくれた

僕が長崎医療センターで出会い、医師として大きく成長させてくれたもの。それは「島の医療」です。離島研修は長崎医療センターでの初期研修の特徴の一つ。研修先に選んだ病院は壱岐島にある壱岐市民病院です。普段の急性期や最先端医療から離れ、自然豊かで時間がゆるやかに流れる場所に身を置いたことは医師として大きな経験となりました。

それまで僕は、医師としていかに医学知識と技術を駆使して病気を治すのかに固執していたんです。島での患者さんやそのご家族との距離がとても近い関係のなか、外来や看取り、介護の現場を経験したことで、患者さんの気持ちに伝えることも医師にとって重要なことなんだと気づかされました。たとえば、検査が必要なのに、患者さんはどうして

も検査をして欲しいと言っている。その

とき、医学的に検査は必要ないと決め付けるのではなく、検査をすることで患者さんは安心するという考えも重要であること。心を満足させる視点で患者さんを診ることも医師にとって大事なことで知ることができました。

学生時代から外科に興味がありましたが、島の医療を経験して内科に進むのもいいかなと思うようになりました。できることならどちらか専門にしたいですね。よくばりだと思いますが（笑）。唯一残念だったのは、離島研修に行った時期が12月だったことです。夏に行っていたらまた違った離島生活が経験できたかなと。

長崎医療センターは、高度な医療から島の医療まで幅広い経験を得ることでき、医師としての考え方や将来の選択肢の幅を、そして自分の可能性を大きく広げてくれる病院です。



“経験できる”環境です！

長崎医療センターはとにかく“経験できる環境”。いくら大きな病院で治療成績がよくて、有名な先生がいても、経験させてもらえなければ意味がありません。ここでは多くの症例をしっかり経験することができ、さらに学会発表など理論に基づいたアカデミックな勉強もできる環境です。一人ひとりの希望に沿った研修ができるのもいいですね。

全国から集まる仲間！



たくさんの仲間がいる！

研修医が日本全国から多く集まっているのも長崎医療センターの特徴。全国から来ているというのはそれだけ大きな魅力があるという証明。出身地や大学の異なる多くの仲間がいることで、さまざまな考え方を得ることができます。



① 久留米 ⇄ ② 長崎

1時間30分

Profile しげの あきひろ

趣味：バイク(オンロード&オフロード)、
合気道、弓道、ボウリング
座右の銘：おもしろきこともなき世をおもしろく
すみなしものは心なりけり
大切なモノ・コト：信念



久留米大学(福岡県)出身

長崎は、景色がいいから

目的地に向かう道中までも楽しい



バイクのメンテナンスも楽しい



壱岐島の美しい海



念願のバイクを購入



大村湾の夕日

①念願のバイクを購入/休日はバイクでカフェ巡りなどを楽しんでいます。長崎は景色がいいので、目的地に行くまでの道のりも楽しいですね。②バイクのメンテナンスも楽しい/バイクのメンテナンスも自分でしています。没頭し過ぎて時間が経つのを忘れてしまうことも。③大村湾の夕日/長崎医療センターからは大村湾が眺望できます。大村湾に位置する長崎空港までは車で15分の近さ。④壱岐島の美しい海/地域医療研修に行った壱岐島には美しい海が広がっています。

1 2
3 4

長崎での出会いが私を変えた。

渡邊奈々子 先生

長崎県五島中央病院
初期臨床研修医 1年目

アクティブな研修環境が、
自分をオープンにしてくれた

生まれも育った場所も大学も、長崎とは全く縁のなかった私が五島中央病院を研修先に選んだきっかけは、大学の先輩の紹介でした。あまり積極的な性格ではなかったのですが、市中病院は難しいかなと思い、最初は出身大学で研修するつもりだったんです。でも五島中央病院を見学したとき、『新・鳴滝塾』から見学旅費のサポートあり！、先生方や病院スタッフの方々がとても親身になって質問に答えてくださり、ここなら自分のペースで着実な研修ができると感じました。それに五島の美しい環境も一目で気に入りましたね。

実際に研修が始まってみると、研修医一人ひとりの実力に合わせた丁寧な指導と、自分が診たいと思った分野はすぐに診させてもらえるというアクティブで自由度の高い研修ができるんです。自然と学ぶ意欲が掻き立てられ、それにしっかり応えてくれる環境だから、「もつと学びたい！」と、さらに意欲的になるんですね。

五島中央病院のアクティブな研修に出会ったことで、性格的にもオープンになりました。先生方だけではなく病院スタッフの皆さんが気さくに話しかけてくださるこの影響も大きいと思います。ここでは、医師だけではなく、病院スタッフ全員が私の先生です。みなさん顔なじみで積極的に声を掛けてくださり、日々、多くの学びを吸収しているなど実感しています。

父が精神科医をしているため、大学を卒業した頃は精神科に進もうかなど思っていました。が、五島中央病院で幅広い経験をするうちに、いろんな分野に興味が出てきて、正直、どの診療科に進もうか迷っています。それが唯一の悩みですね(笑)。

Meets
私に長崎で出会ったもの
学びに意欲になれる、アクティブな研修



幅広く、意欲的に
学べる環境！

五島中央病院は、五島における唯一の総合病院で救急医療の中核を担っています。医療が細分化されていないので、幅広い症状の初期対応をしっかり学ぶことができます。それに、研修医に対しての指導医数も多く、若い先生方からベテランの先生方まで教育熱心。手厚い指導で意欲的に研修に臨むことができます。



じっくり話を聞くことが大事！

患者さんとの距離が近い！

患者さんの何気ない言葉や仕草のなかに、診療に大切なヒントがあります。外来では患者さんの声に耳を傾け、時間が空けば病棟に行って患者さんと接しています。



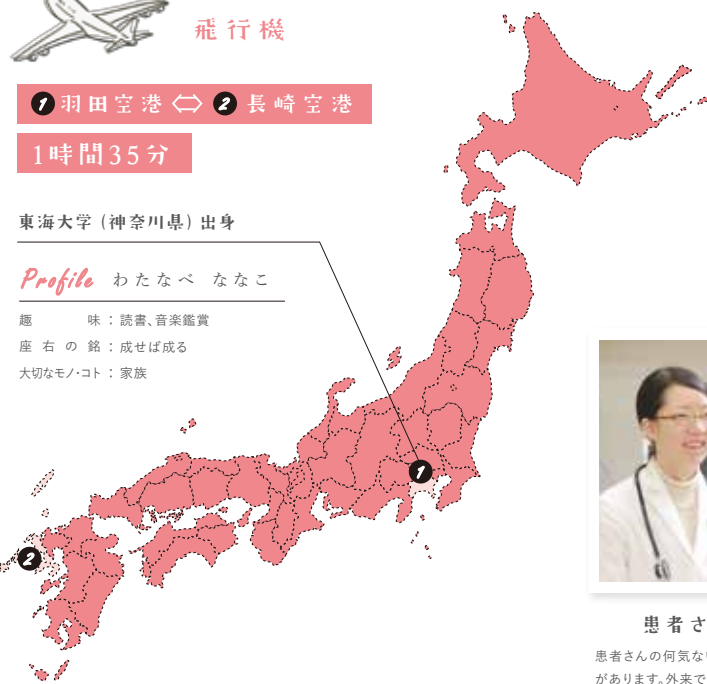
① 羽田空港 ⇄ ② 長崎空港

1時間35分

東海大学(神奈川県)出身

Profile わたなべ ななこ

趣味：読書、音楽鑑賞
座右の銘：成せば成る
大切なモノ・コト：家族



五島は、生活の全てに無駄がなく
日々、感動が生まれる場所



五島、玉之浦のネコちゃん



頓泊海水浴場



五島の生活は賢沢



小浦海水浴場

①五島の生活は賢沢/美しい景色、美味しい食、心地よい空気。五島には本当の賢沢な生活があります。②五島、玉之浦のネコちゃんと/五島には猫がいっぱい。猫好きの私はとても癒されます。③④小浦海水浴場・頓泊海水浴場/五島の海は透明で美しく、空は広い。開放的な景色が広がっています。

1 2
3 4

長崎での出会いが私を変えた。

安武正矢 先生

長崎みなとメディカルセンター市民病院
初期臨床研修医 1年目

医師としての自信を生んだ
救急科での経験

医師としていまの成長があるのは、指導医である救急科の嵩下英次郎先生と出会えたことが大きいですね。嵩下先生は、長崎みなとメディカルセンター市民病院（以降、市民病院）の救急科の部長で、救急医療のプロフェッショナル。僕の出身大学の先輩でもあり、最初の救急研修の時には、まだ右も左も分からない僕にファーストタッチを経験させてくださいました。傍らで見守りながらもギリギリまで手を貸さないという指導方針。僕ができる事とできない事をしっかりと見極め、大切な場面では的確なアドバイスをしてくださいます。そのおかげで考える力と判断力、そして度胸が自然と身に付きまし

たし、交通事故などで運ばれてきた患者さんのFAST（腹部や胸などの出

血の有無を確認する超音波検査）も評価できるまでになりました。嵩下先生をはじめ、目標としたい先生方が数多くいるこの環境は、高いモチベーションの維持となっていますし、大げさかもしれませんが、やる気さえあれば、必ず成長できると思います。

また、研修医の負担をできるだけ少なくして仕事に集中できる環境をつくるため、市民病院では研修医専属のクラークさんが付くのも大きな魅力です。病院全体で研修医を育てようという方針のため、院長先生も僕たち研修医とすれ違うたびに声を掛けてくださるし、どこよりもアットホームで仕事のしやすい環境だと感じています。多くの症例を経験させていただいたことで、まだまだ小さいですが医師としての自信が生まれてきました。この自信を大きな自信にするため、もっともつと経験を重ねていきたいです。

経験の積み重ねが大切！

豊富な研修医実習！

豚の肋骨部分のブロック肉を使用した胸腔チューブ実習。こうした研修医実習も豊富で、着実に検査・治療手技を身に付けることができます。

とにかくアットホーム！

何でも気軽に質問できるアットホームな環境だから、いつでも、どこでも自然と会話が弾む充実した学びの場ができるんです。分からないことは一からしっかり教えてくださいますし、できるようになったことはしっかりさせていただけるので、知識・手技をどんどん吸収できます。医療を楽しく学べる環境だから、常に前向きに研修に臨むことができるのもいいですね。



① 博多 ⇄ ② 長崎

2時間00分

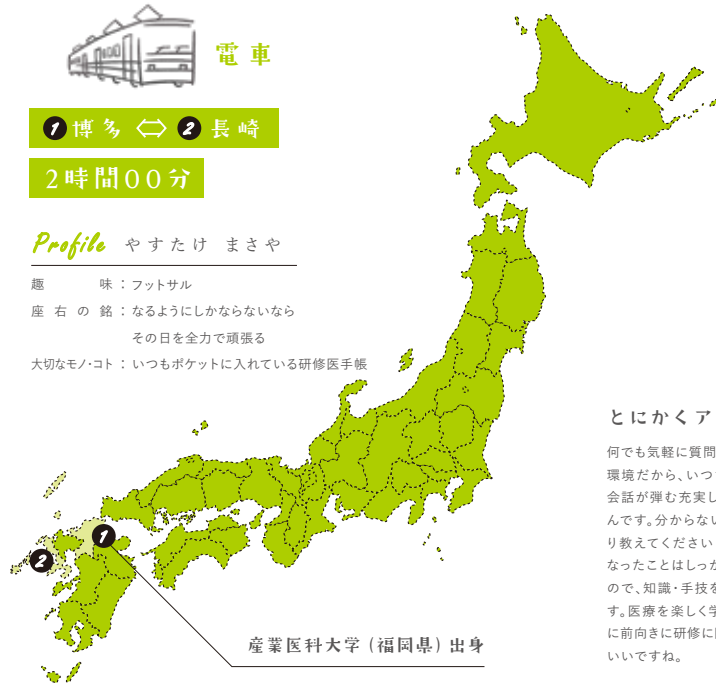
Profile やすたけ まさや

趣味：フットサル

座右の銘：なるべくしかならないなら

その日を全力で頑張る

大切なモノ・コト：いつもポケットに入れている研修医手帳



産業医科大学（福岡県）出身

長崎は、どこに行くにも
近くて便利な美しいまち



長崎港



水辺の森公園にて



便利な路面電車



フットサル部を立ち上げました！

①便利な路面電車/長崎市内の移動は路面電車がとても便利です！ ②長崎港/市民病院の目の前には、水辺の森公園や長崎港が広がっています。新病棟も開院し、素晴らしい環境で研修生活を送っています。 ③フットサル部を立ち上げました！/病院公認のフットサル部を立ち上げ、休日は病院スタッフの方々と楽しんでいます。 ④水辺の森公園にて/海と緑のある風景は、歩くだけでも癒されます。

1 2
3 4

Meet
長崎みなと
メディカルセンター
市民病院 救急科
主任診療部長/指導医
嵩下英次郎先生

長崎での出会いが私を変えた。

社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院
初期臨床研修医 1年目

村田和樹 先生

私が長崎で
出会ったもの Meet

信頼関係を築く、
対話の医療

信頼関係を築く、対話する
医療の大切さを知った

研修医として働き始めの頃は誰もが不安で消極的になりがちですが、佐世保中央病院では研修医が積極的に働ける環境がつくられています。ここは診療科同士の敷居が低く、どの指導医の先生も親切丁寧。ふとした疑問点についても気軽に尋ねることができ、疑問はその日のうちに解決することができます。だから日々の確実な成長を実感することが出来ます。さらに月2、3回ある当直や週1回の救急外来当番など、年間を通して救急医療に接することができるのもいいですね。当直について困ったことがあれば、すぐに専門科の先生が駆けつけてくださるなどコンサルトのしやすさもあり、安心して研修ができます。

こうした相談しやすい環境は僕に大きな成長をもたらしてくれました。研修が始まってまだ一ヶ月が経たない頃、自分の説明不足が原因で患者さんとの信頼関係が上手く築けなかったことがあったんです。指導医の先生に相談すると、患者さんとの対話の場を設けてくださり、そのおかげで信頼関係を築くことができました。患者さんから「ありがとう」と言われた時は本当に嬉しかったですね。医師は患者さんと信頼関係を築かなければ、満足な医療を提供することができないということをもっと体験しました。それは、先生方やスタッフ同士、また患者さんとしっかりコミュニケーションをとっている佐世保中央病院だからこそ学び得たことだと思っています。

医師になつて間もない時期にこのような貴重で大切な経験ができたことは、これから長く続く医師人生にとって大きな宝物になると思います。



患者さんが笑顔になれる医療を！

対話力と診療能力が
身に付く！

患者さんが帰るとき笑顔になっている医療を提供したいです。それには、対話の医療はもちろん、高い診療能力が必要。佐世保中央病院は、両方の実力を身に付けることができる医療環境です。



魅力にあふれた研修環境！

プログラムについては、次週の研修先を金曜日に変更してくれるなど対応がフレキシブル。また、全ての先生方が同じ医局内なので科を超えたコミュニケーションが取りやすい。一人に一台電子カルテがあるので自分のデスクでサマリー作成が可能。その上、無料で英会話教室へ通えるなど、研修医にとって魅力がいっぱいです。

佐世保は、独自の食と文化に
彩られた魅力あふれるまち



リレーマラソンに出場



佐世保のまち並み



佐世保バーガー



マラソン大会の打ち上げ

①③リレーマラソンに出場/医局の先生方と体力づくりではじめたマラソン。定期的に関連マラソン大会に参加しています。 ②佐世保のまち並み/佐世保は米軍基地があるためアメリカを身近に感じられる場所。「ハウステンボス」や「九十九島」などの見所もたっぷりあり、魅力にあふれたまちです。 ④佐世保バーガー/日本におけるハンバーガー発祥の地だけあって、味もボリュームも本格派！ ⑤マラソン大会の打ち上げ/大会が終わった後の打ち上げが楽しいんですね(笑)。飲み会は幹も深めます。

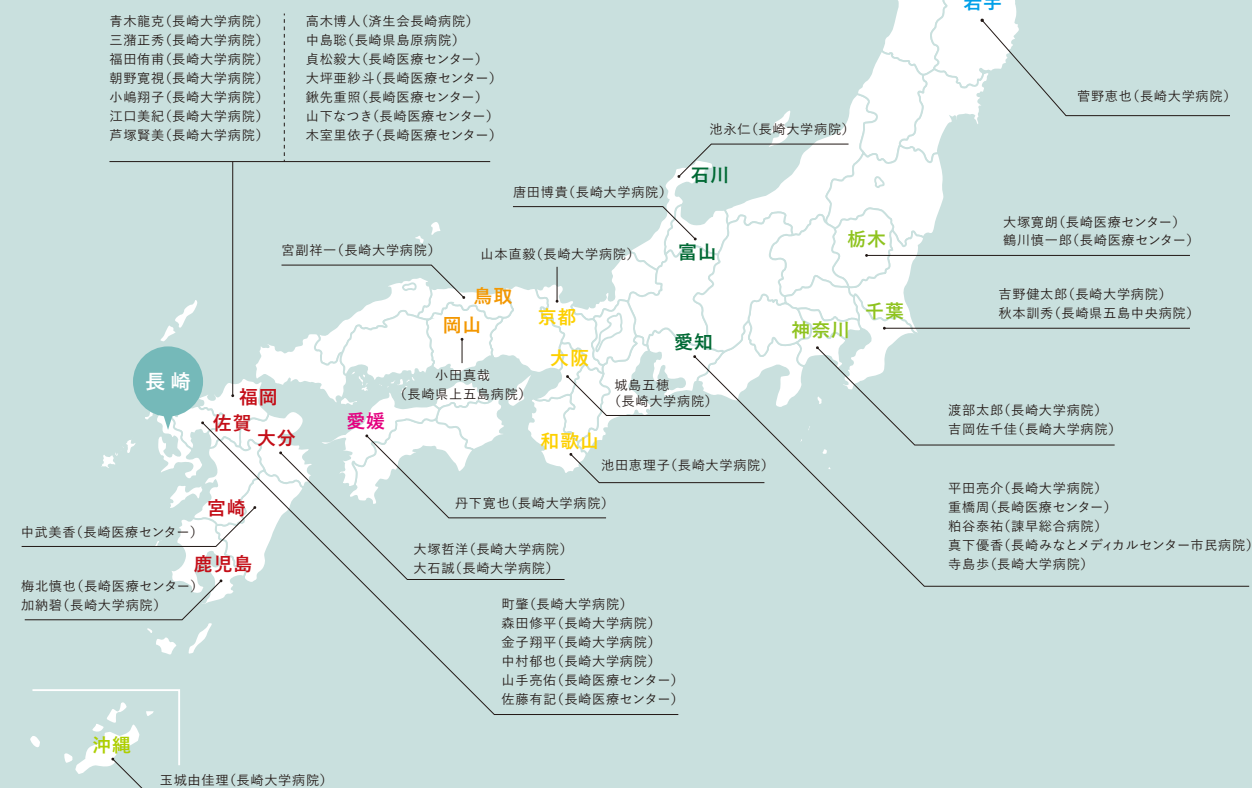
1 2
3 4 5



わたしたちも 長崎県外&県外大学の 出身です!!

2014年度採用 長崎県の初期臨床研修医

75名中52名が県外&県外大学出身者です。



研修するなら長崎で

ALL長崎のネットワーク

長崎大学病院/長崎みなとメディカルセンター・市民病院/長崎原爆病院/済生会長崎病院/
上戸町病院/長崎北徳洲会病院/長崎医療センター/市立大村市民病院/諫早総合病院/
長崎県島原病院/佐世保市立総合病院/長崎労災病院/佐世保中央病院/佐世保共済病院/
長崎県五島中央病院/長崎県上五島病院/長崎県対馬いづはら病院

病院見学のエントリーは随時受付中

見学旅費のサポートあり!



ナガサキ 新・鳴滝塾
ALL NAGASAKI

新鳴滝塾

(web) www.narutaki-jyuku.jp
(e-mail) info@narutaki-jyuku.jp

携帯電話からの病院見学のエントリーはこちら→



RESIDENT
in
NAGASAKI
with
*02

STAFF CREDIT

発行 長崎県医師臨床研究協議会【新・鳴滝塾】
浜田 久之、林田 昌子、宮本 洋子

編集制作 【民間医局】株式会社メディカル・プリンシプル社

制作協力 株式会社メディア出版 池袋編集センター

アートディレクター 正代 結希

ライター 田口 素行

カメラマン 小山 英樹

編集後記

最先端の医療から、地域や島の医療まで、長崎県でしか体験できないことがたくさんあります。これから長く続く医師人生をいろいろな経験によって彩ってみませんか? 日本各地から来た研修医たちの生き生きとした様子を少しでも知ってもらいたくて『withN』vol.2を作りました。あなたのドラマの舞台にぜひ長崎を選んでください。